

“城陽秋花火 2026” 開催に係る露店営業に関する規約

(目的)

第1条 この規約は、京都府暴力団排除条例及び城陽市暴力団排除条例に基づき、暴力団排除を推進するとともに、露店等(商品の販売やサービスの提供等を目的として、臨時的に出店するものをいう。以下同じ。)の営業者の自由な経済活動と秩序ある営業活動行為を促進し、もって社会環境の維持と城陽市の健全な運営を図ることを目的として、必要な事項を定めるものとする。

(露店等の出店申し込み)

第2条 城陽秋花火 2026 の会場において露店等を営業しようとする者(以下「出店者」という。)は、一般社団法人城陽市観光協会に対し、露店等出店 申込書・同意書(様式第1)を提出し、確認を受けなければならない。(確認証の交付)

第3条 一般社団法人城陽市観光協会は、露店等を営業することが適当と認めるときは、出店者に対し、出店許可書を交付するものとする。

(出店の拒否)

第4条 一般社団法人城陽市観光協会は、出店者、責任者及び使用人が次の各号のいずれかに該当することが判明した場合、出店確認証を発行しないものとする。

- (1) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第 6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)
- (2) 暴力団員と生計を一にする配偶者(婚姻の届け出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下「配偶者」という。)
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団又は暴力団員若しくは配偶者(以下「暴力団員等」という。)がその事業活動を支配するもの
- (4) 法人でその役員又は主要な使用人が暴力団員等であるもの。
- (5) 暴力団員等をその業務に従事させ又はその業務の補助者として使用するもの。
- (6) 暴力団又は暴力団員等に対して資金等を提供し、又は便宜を与供するなど積極的に暴力団の維持運営に協力若しくは関与しているもの。

(関係機関への意見聴取)

第5条 一般社団法人城陽市観光協会は、第2条の確認をしようとするときは、第4条各号に掲げる事由の有無について関係機関に意見を聴くことができる。

(出店許可書の掲示等)

第6条 出店者は、一般社団法人城陽市観光協会から交付を受けた出店許可書を持参し、営業を行わなければならない。また、露店等の営業に従事する者は、身分を証明するものを携帯しなければならない。

(出店者の遵守事項)

第7条 出店者は、以下の事項を遵守しなければならない。

- (1) 出店場所及びその周辺を破損、汚損などしないこと。万が一、破損、汚損などが生じた場合は、原状復旧すること。
- (2) 出店に際して発生したゴミ等については、出店者が持ち帰る者とし、その場に放置しないこと。